

科目名	教化学概論 I					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1301

●授業のテーマ

「教化学」とは何か 1

●到達目標

浄土真宗の学びは、即、教化の実践である。真宗における「教化」とは何かということについて、基礎的なことから学んでいく。

●学習内容(授業概要)

「教化」という言葉を基軸として、釈尊・親鸞・蓮如・清沢満之の求道と教化の歩み、また真宗大谷派教団における教化の取り組み（同朋会運動など）について学んでいく。

そして、そのことを通して、真宗の学びと教化の意義について、私たち一人ひとりが主体的に考えられるようになる。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 授業のガイダンス
2. 浄土真宗の学びとは
3. 「真宗学」と「教化学」
4. 「教化学」とは何か―「きょうけ」と「きょうか」
5. 釈尊の求道と教化①
6. 釈尊の求道と教化②
7. 釈尊の求道と教化③
8. 親鸞の求道と教化①
9. 親鸞の求道と教化②
10. 親鸞の求道と教化③
11. 親鸞の求道と教化④
12. 親鸞の求道と教化⑤
13. 現代と教化① 僧侶と門徒
14. 現代と教化② 医療と生命倫理
15. 総括（まとめ・テスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…次回の授業で学ぶ事柄を予習してこること。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見つけ出すこと。

●成績評価方法・基準

①平常点（出席・受講態度など）50%、②感想文（授業時に数回）20%、③期末試験（筆記またはレポート）30%

●テキスト（必携）

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

テキストは必ず持参すること。不携の場合は欠席扱いとする。

受講生との応答を大切にしながら、授業を進めていきたい。授業への積極的な参加を望む。授業中の私語・携帯電話等の使用は厳禁。